

念仏 ねんぶつ

南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ
南無阿弥陀仏 なもあみだぶつ

回向 えこう

願以此功德 がんにしくどく
願はくはこの功德をもつて ねがはくはこのくどく
平等施一切 びようどうせ いっさい
平等に一切に施し びようどう いっさい ほうご
同発菩提心 どうほつぼだいしん
同じく菩提心を発して おなじく ぼだいしん ほつ
往生安楽国 おうじょうあんらくこく
安楽国に往生せん あんらくこく おうじょう

浄土真宗の生活信条

- 一、み仏の誓いを信じ 尊いみ名をとなえつつ 強く明るく生き抜きます ほどけ ちか しん どうと な つよ あか い ぬ
- 一、み仏の光りをあおぎ 常にわが身をかえりみて 感謝のうちに励みます ほどけ ひか つね み かんしゃ はげ
- 一、み仏の教えにしたがい 正しい道を聞きわけて まことのみのりをひろめます ほどけ おし ただ みち き まことのみり をひろめます
- 一、み仏の恵みを喜び 互いによやまい助けあい 社会のために尽します ほどけ めぐ よろこ たが たす しゃかい つく

77 天親菩薩論註解
78 報土因果顯誓願
79 往還回向由他力
80 正定之因唯信心
81 惑染凡夫信心發
82 証知生死即涅槃
83 必至無量光明土
84 諸有衆生皆普化
85 道綽決聖道難証
86 唯明淨土可通入
87 万善自力貶勤修

天親菩薩の『論』(浄土論)、註解して、
報土の因果、誓願に顯す。
往還の回向は他力に由る。
正定の因はただ信心なり。
惑染の凡夫、信心發すれば、
生死すなわち涅槃なりと証知せしむ。
かならず無量光明土に至れば、
諸有の衆生、みなあまねく化すといえり。
道綽、聖道の証しがたきことを決して、
ただ浄土の通入すべきことを明かす。
万善の自力、勤修を貶す。

88 円満徳号勸専称
89 三不三信誨慇懃
90 像末法滅同悲引
91 一生造悪値弘誓
92 至安養界証妙果
93 善導独明仏正意
94 矜哀定散与逆悪
95 光明名号顕因縁
96 開入本願大智海
97 行者正受金剛心
98 慶喜一念相應後

円満の徳号、専称を勸む。
三不三信の誨、慇懃にして、
像末法滅、同じく悲引す。
一生悪を造れども、弘誓に値ひぬれば、
安養界に至りて妙果を証せしむと、いえり。
善導独り、仏の正意を明きらかにせり。
定散と逆悪とを矜哀して、
光明名号、因縁を顕す。
本願の大智海に開入すれば、
行者、正しく金剛心を受けしめ、
慶喜の一念相應して後、

33 譬如日光覆雲霧
34 雲霧之下明無闇
35 獲信見敬大慶喜
36 即横超絶五惡趣
37 一切善惡凡夫人
38 聞信如来弘誓願
39 仏言広大勝解者
40 是人名分陀利華
41 弥陀仏本願念仏
42 邪見憍慢惡衆生
43 信樂受持甚以難

たとえば、日光の雲霧に覆われるれども、
雲霧の下、明らかにして闇きことなきがごとし。
信を獲て見て敬い大きに慶喜すれば、
すなわち横に五惡趣を超截す。
一切善惡の凡夫人、
如来の弘誓願を聞信すれば、
仏、広大勝解の者と言へり。
この人を分陀利華と名づく。
弥陀仏の本願念仏は、
邪見憍慢の惡衆生、
信樂を受持すること、はなはだもつて難し。

44 難中之難無過斯
45 印度西天之論家
46 中夏日域之高僧
47 顕大聖興世正意
48 明如来本誓応機
49 釈迦如来楞伽山
50 為衆告命南天竺
51 龍樹大士出於世
52 悉能摧破有無見
53 宣説大乘無上法
54 証歡喜地生安樂

難の中の難、これに過ぎたるはなし。
印度・西天の論家、
中夏・日域の高僧、
大聖興世の正意を顕し、
如来の本誓、機に應ぜることを明かす。
釈迦如来、楞伽山にして、
衆のために告命したまわく、南天竺に、
龍樹大士世に出でて、
ことごとく、よく有無の見を摧破せん。
大乘無上の法を宣説し、
歡喜地を証して、安樂に生ぜん、と。

人身 受け難し、いますでに受く。佛法 聞き難し、いますでに聞く。

この身今生において度せずんば、さらにいづれの生においてかこの身を度せん。
大衆もろともに、至心に三宝に歸依し奉るべし。

自ら仏に歸依したてまつる。

まさ願わくは衆生とともに、大道を体解して、無上意を發さん。

自ら法に歸依したてまつる。

まさ願わくは衆生とともに、深く経藏に入りて、智慧 海のごとくならん。

自ら僧に歸依したてまつる。

まさ願わくは衆生とともに、大衆を統理して、一切無碍ならん。

無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭遇うこと難し。

我いま見聞し受持することを得たり。願わくは如来の眞実義を解したてまつらん。

正信念仏偈 (正信偈)

- 1 歸命無量壽如来
- 2 南無不可思議光
- 3 法藏菩薩因位時
- 4 在世自在王仏所
- 5 觀見諸仏淨土因
- 6 国土人天之善惡
- 7 建立無上殊勝願
- 8 超發希有大弘誓
- 9 五劫思惟之攝受
- 10 重誓名聲聞十方

- 無量壽如来に歸命し、
- 不可思議光に南無したてまつる。
- 法藏菩薩の因位の時、
- 世自在王仏の所にましまして、
- 諸仏の淨土の因、
- 国土人天の善惡を觀見して、
- 無上殊勝の願を建立し、
- 希有の大弘誓を超發せり。
- 五劫、これを思惟して攝受す。
- 重ねて誓うらくは、名聲十方に聞こえんと。